

革新的な製品をこれからも提供する

インターコムは、同時に会話できる人数は8人まで拡大し、今や「セナ・メッシュ」テクノロジーでその人数は「無制限」を実現。さらに、このセナ・メッシュとBluetoothのインターコム同士で通話ができる「+Mesh」というアダプタを開発。Bluetoothとセナ・メッシュのユーザーが通話できるという、高い接続互換性があるのもセナ・インターコムの特徴だ。

また、スマートフォンやナビ音声や聴きながら、インターコム通話を楽しめる「オーディオマルチタスク」も「20S」でいち早く実現。さらに、セナでは音楽をはじめインターコムを通じて聞こえる音のクオリティを追求。「プレミアムHDスピーカー」をハイエンドモデルに採用するのはもちろん、5Sのようなベリタス

クモデルにもオプション設定することで、多くのユーザーに高音質を楽しんでもらえる選択肢を提供している。

セナのもう一つの基本姿勢が「グローバルソリューション」だ。セナはアメリカに2カ所、ドイツのケルン、中国の深セン、そして韓国に開発拠点をもち、世界中のライダーの声を傾けながら製品開発を行っている。

また、もともとバイク用インターコムのメーカーとしてスタートしたセナだが、今では自転車用、スキー・スノーボードに加えて産業用インターコムもラインナップするなど、その用途もグローバルだ。そしてバイク用インターコムだけをとっても、セナ・インターコムのアイコンとなっている、ジョグダイヤルスタイルのものから、シンプルな3ボタンの「SFシリーズ」と、ユーザーの好みに合わ

前となっているグループ通話では、同時に会話できる人数は8人まで拡大し、今や「セナ・メッシュ」テクノロジーでその人数は「無制限」を実現。さらに、このセナ・メッシュとBluetoothのインターコム同士で通話ができる「+Mesh」というアダプタを開発。Bluetoothとセナ・メッシュのユーザーが通話できるという、高い接続互換性があるのもセナ・インターコムの特徴だ。

50S

最新鋭のフラッグシップ



50R
最新鋭のフラッグシップ
3ボタン式

2021年

セナはさらに進化する

バイク用インターコムを代表するブランドであるSENA 20年余前に創業したセナは、チャレンジャーの立場から今やインターコムのリーディングカンパニーとなったそこに貫かれているのは「ライドコネクト」と「グローバルソリューション」という基本姿勢だ

写真/増川浩一 文/八百山ゆーすけ
問:セナBluetoothジャパン <https://senablueetooth.jp>



SENAの10年 フラッグシップの今までとこれから

技術革新

2010	SMH10	2人	Bluetooth 2.1
2014	20S 2019:20S EVO	8人	Bluetooth 4.0
2017	30K	16人	Bluetooth 4.1 Mesh 1.0
2020	50S, 50R	24人	Bluetooth 5.0 Mesh 2.0

SENAの10年 個性的な提案

技術革新

2012	SR10	無線機をBluetoothでつなぐ
2015	10C	インターコムとカメラが一体
2018	SRL / SRL2	インターコムとヘルメットが一体
2019	+MESH	SENA Bluetooth インターコムをSENA Mesh に
2020	5S	インターコムにディスプレイを搭載

10C PRO
カメラを搭載するインターコム



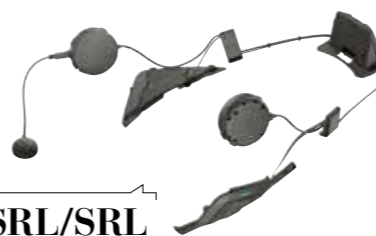
5S
LCDディスプレイを搭載



SF1
新提案のボタン式



SRL/SRL
驚きのヘルメット内蔵型



30K
メッシュを初採用した記念碑モデル



20S EVO
オーディオマルチタスクを初搭載

